

昭和40年度福島県教育モニター名簿

一連番号	氏名	性号	職業	年令	住所
1	小林弘	男	会社重役	47	二本松市郭内2の270
2	桑原馨	男	東北電力保線所主任	52	原町市三島町3丁目71
3	富塚秀夫	男	行政書士	36	郡山市富久山町福原字泉崎31
4	秦太郎	男	郵政事務官	43	東白川郡塙町本町46
5	千葉薫	男	農業	57	北会津郡北会津村大字伊和保甲2056
6	河原田三	男	農業	63	南会津郡伊南村大字宮沢字下原990
7	佐藤良	男	農業	55	岩瀬郡岩瀬村大字矢沢字橋本124
8	皆川松次	男	大学守衛	48	会津若松市門田町日吉751
9	谷村英三郎	男	常磐炭鉱磐城鉱業所労務係長	34	常磐市湯本辰ノ口25
10	塩田保忠	男	旅館業	56	河沼郡柳津町大字柳津字寺町152
11	板津吉	男	呉服業	32	石城郡田人村大字黒田字別当61
12	渡辺輝	男	柏屋製菓	29	郡山市赤木町146
13	並木良夫	男女	福島テレビ編成局次長	41	福島市野田町西岡原7-14
14	鈴木洋	男女	NHK福島放送局放送部	43	福島市南沢又道合・教員住宅404号
15	山口秋夫	男	高等学校講師	58	平市北目町132-6
16	鈴木五郎	男	中学校校長	58	白河市立石166-2
17	諸岡子	女	服装学院副院長	49	石川郡石川町下泉192
18	小川識	男	小学校教頭	39	福島市渡利馬場町38-7
19	金子ミチ	女	主婦	53	伊達郡伊達町大字箱崎37
20	石川文子	女	主婦	39	会津若松市徒ノ町1-19
21	古川寿枝	女	主婦	50	郡山市鶴見坦1丁目7-4
22	吉田ケイ	女	主婦	52	双葉郡双葉町大字鴻ノ草
23	松岡啓順	男女	福島大学学芸学部学生	20	福島市五月町9
24	高野和子	女	福島大学学芸学部学生	20	福島市柳町1-22
25	佐久間直右	男	無職	61	田村郡三春町大字実沢字長作106
26	須藤三郎	男	無職	57	耶麻郡高郷村大字峰字漆窪乙351

⑥ 報告を求めた事項

- 第1回 文書報告 9月30日  
児童生徒の学力を向上させる方策  
へき地教育の充実と振興のための方策  
高等学校入学選抜方法の改善の方策

第2回 文書報告 11月30日

- 青少年の健全育成方策  
家庭教育学級の振興充実方策  
学校給食の普及充実の方策

第3回 口頭報告

昭和41年度の教育行政に期待するもの

⑦ 報告の結果と処理

いずれの意見も、教育の振興充実に期待をかける声ばかりで、行政関係者、教育関係者に深い感銘を覚えさせるものばかりであった。

県教育委員会は、この意見を「教育モニター報告結果の内容」B5版、63ページにまとめ、2月1日、報告結高校、市町村教育委員会に配布するとともに、41年度福島県教育委員会努力目標設定に際して参考としてとり入れ、諸施策の実施にあたってこの報告の意見をじゅうぶん生かすことにした。

またFTV県政テレビ放送「茶の間の県政」において教育長は「教育モニター制度は生かされたか」と題して2月12日、午前7時20分から20分間、放送を行なった。

第6節 調査・統計

昭和40年度に調査系の計画実施した事業は次のとお

りである。

なお、学校基本調査については、県統計課に協力した調査であるが、その結果より「学校統計要覧」を刊行し、広く活用の便を図った。

1 高等学校教育課程実施状況調査

(1) 調査の目的

この調査の目的は、高等学校における教育課程の類型教科科目の単位数およびその履修状況等新教育課程の実施状況を調査して、後期中等教育に関する諸施策の改善充実のための基礎資料を得ることにある。

(2) 調査事項

所定の調査票により、主として下記の事項について調査する。

- ① 教育課程（類型）別教科、科目単位数
- ② " 生徒数
- ③ " 教科、科目別履修者数および評定1または2の者の数
- ④ " 退学者数および原学年とめおき者数
- ⑤ " 進路希望別生徒数
- ⑥ " クラブ活動への参加者数および全員参加希望参加の別
- ⑦ 専攻科、別科の学年別科目履修時間数
- ⑧ " 入学定員、入学志願者数および生徒数

(3) 範囲

公、私立の高等学校の全日制、定時制課程、専攻科、および別科